

氏名	江 澤 和 彦
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第1574号
学位授与の日付	平成9年3月25日
学位授与の要件	医学研究科生理系生理学第一専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Comparative Analysis of CD45RA-and CD45RO-Positive CD4 T Cells in Peripheral Blood, Synovial Fluid, and Synovial Tissue in Patients with Rheumatoid Arthritis and Osteoarthritis (慢性関節リウマチおよび変形性関節症の末梢血, 関節液, 滑膜組織におけるCD4 T細胞中のCD45RA およびCD45RO陽性細胞に関する検討)
論文審査委員	教授 井上 一 教授 佐々木 順造 教授 中山 睿一

学位論文内容の要旨

〔目的〕慢性関節リウマチ(RA)の関節病変部におけるCD4T細胞のサブセットの異常を明らかにするため, RA患者の末梢血(PB), 関節液(SF), 滑膜組織(ST)中のCD45RAおよびRO陽性CD4T細胞を変形性関節症(OA)患者と比較検討した。

〔対象と方法〕RA患者10名とOA患者5名よりPB, SFおよびSTの検体を採取した。また健康人5名よりPBを採取した。PB, SFおよびSTから分離したリンパ球サブセットはCD3, CD4, CD8, CD45RAおよびCD45ROに対する標識抗体を用いてフローサイトメトリーで二重染色体解析を行った。

〔結果〕RA患者, OA患者, 健康人のPBにおいてCD4+CD45RA+T細胞とCD4+CD45RO+T細胞の割合は後者の方が高く, いずれも同程度であった。RA患者, OA患者のSFおよびST中のリンパ球でも同様にCD4+CD45RA+T細胞に比べてCD4+CD45RO+T細胞の割合が高かったが後者の方が著しく優位であり, それぞれの頻度にはRA患者, OA患者の間に有為な差を認めなかった。またRA患者のSFおよびST中のCD4+CD45RO+T細胞比率とRAの疾患活動性とは相関がなかった。

〔考察・結論〕RA関節ではOAに比較すると多数のCD4T細胞が浸潤しているが, RA関節でのメモリーT細胞の比率はOA関節とほぼ同等であったこと, さらにRA関節のCD4+CD45RO+T細胞すなわちメモリーT細胞とその疾患活動性に相関がなかったことより, RA関節, OA関節の多くのメモリーT細胞は接着分子を介して炎症の場へ非特異的に集族していることが示唆された。

なお, 本論文は共著論文であり, 共著者の協力を得て完成したものである。

論文審査結果の要旨

本研究は慢性関節リウマチおよび変形性関節症患者の末梢血, 関節液, 滑膜組織中のCD45RAおよびCD45RO陽性細胞を比較研究し, 後者は非特異的に局所炎症と関連することを明らかにしたもので, 価値ある業績と認める。

よって, 本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。